

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和 4 年度病害虫発生予察注意報第 2 号について

令和 4 年度病害虫発生予察注意報第 2 号を発表したので送付します。

## 令和 4 年度病害虫発生予察注意報第 2 号

**斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。防除の徹底を図りましょう。**

- 1 病害虫名 : 斑点米カメムシ類
- 2 作物名 : 普通期水稻
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多

### 5 注意報の根拠

- 1) 8 月上～中旬の巡回調査 (41 ほ場) における、斑点米カメムシ類の発生面積率は 17.1% (平成 6.8%)、発生程度 (20 回すくい取り虫数) は 0.8 頭 (平成 0.2 頭) でいずれも平成比多であった (図 1、2)。特に、畦畔や水田内に出穂したイネ科雑草等が多いほ場で、斑点米カメムシ類の発生が多い傾向にあった。
- 2) 種類別虫数平均 (20 回すくい取り) では、クモヘリカメムシが 0.59 頭 (平成 0.09 頭)、ホソハリカメムシが 0.10 頭 (平成 0.03 頭) と多かった (図 3)。また、一部の予察灯ではイネカメムシの大量誘殺が確認されている (8 月 1～3 半旬合計: 551 頭、データ省略)。
- 3) 向こう 1 か月の天候は、平均気温は高い見込みと予想されている (鹿児島地方気象台 8 月 18 日発表 1 か月予報より) ことから、カメムシ類の活動に好適であることが推測され、注意が必要である。

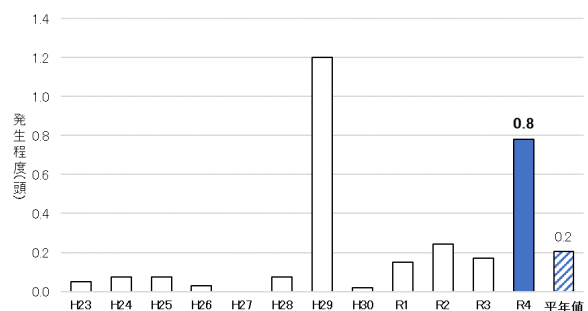
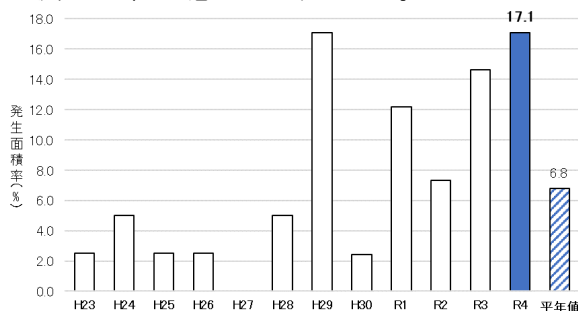


図1 8 月上～中旬の発生面積率 (過去10年)

図2 8 月上～中旬の発生程度 (過去10年)

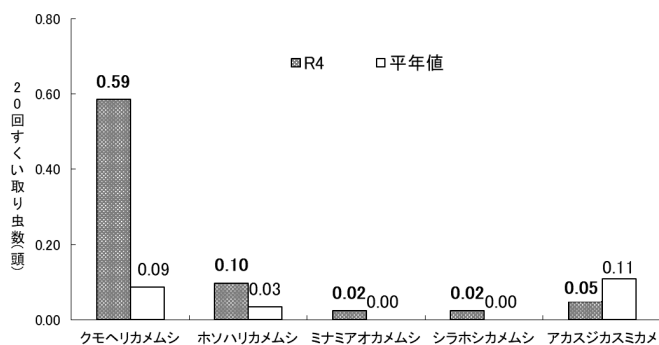


図3 種類別虫数平均（20回すくい取り）

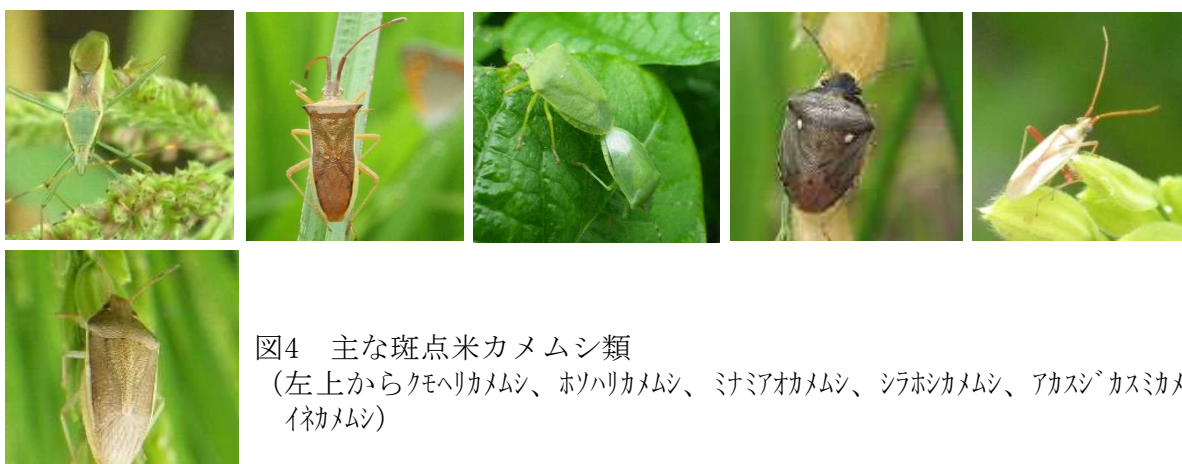


図4 主な斑点米カメムシ類  
（左上からクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ、シラホシカメムシ、アカスジカスミカメ、イナカメムシ）

## 6 防除上の注意

- 1) 防除は穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とするが、発生が高密度の場合はさらに追加防除を実施する。
- 2) 地域全体の発生密度を下げるため、可能な限り、広域での一斉防除を実施し、防除効果を高める。
- 3) 農薬を使用する際は、必ず容器のラベルの登録内容を確認する。
- 4) 散布の際は、周辺の作物の栽培状況を確認し、他の作物への農薬飛散防止対策を講じる。
- 5) 薬剤等その他の詳細については関係機関に照会する。

## 7 その他

6月1日から8月31日の3か月間は、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベルの登録内容の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

### 《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課  
（病害虫防除・肥料検査センター） 阿萬  
TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127  
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

